

# 安全対策部

部 長 登山 一成

副部長 山田 隆

## 安全対策部

### ○パトロール委員会

委員長 上平 尚

副委員長 片倉 善文

委員 影山 広美, 高橋 徳治, 中澤 義昭

### ○プロモート委員会

委員長 上平 尚

副委員長 秋元 洋一

委員 鈴木 恵太, 田村 一司, 米田 幸雄

### ■全国スキー安全対策協議会 第2回「国内スキー等安全基準」検討会議

【会期】 2011年10月5日(水)

【会場】 新潟市 北陸信越索道協会会議室

【出席者】 上平 尚

### ■全国スキー安全対策協議会

【会期】 2011年10月27日(木)

【会場】 東京都 日本鋼索交通協会会議室

【出席者】 上平 尚, (欠席: 登山 一成)

【日程】 13:00 監査, 14:00 理事会, 15:30 総会

### ■第10回スキー場の安全対策に関する講習会

及び第3回「国内スキー等安全基準」検討会議

【会期】 2012年1月31日(火)～2月1日(水)

【会場】 群馬県 ホワイトワールド尾瀬岩鞍 岩鞍リゾートホテル

【出席者】 高橋 徳治

### ■全国安全対策委員長会議(資料1)

【会期】 2011年11月5日(土) 13:00～17:00

【会場】 東京都・岸記念体育会館 102-103号室

【役員】 登山 一成, 上平 尚, 片倉 善文, 秋元 洋一

【オブザーバー】 一戸 繁輝, 富樫 泰一, 小林 英記

【参加者】 26加盟団体

【議事】

1. 開会宣言(片倉 善文)

2. SAJ代表挨拶(登山 一成)

3. 安全対策委員長報告（上平 尚）
4. JSPA 会長挨拶（一戸 繁輝）
5. 各加盟団体の活動報告
6. スキー安全会報告（小林 英記）
7. 閉会宣言（秋元 洋一）

■パトロール中央研修会・パトロール技術員研修会

【会期】 2011 年 11 月 25 日（金）～11 月 27 日（日）

【会場】 長野県・志賀高原高天原スキー場

【責任者】 登山 一成

【主任】 上平 尚

【現地庶務】 田村 一司

【講師】 片倉善文，秋元洋一，影山広美，鈴木恵太，米田幸雄

【参加者】 パトロール技術員 19 名

【日程】

○11 月 25 日（金） 14:00 役員集合，15:00 受付，16:00 開会式，16:30～17:30 理論研修，19:00～21:00 理論研修

○11 月 26 日（土） 07:00～07:30 朝の集い，09:00～12:00 実技研修（搬送種目），13:00～15:30 実技研修（基礎スキー種目），16:00～17:30 実技研修（ロープ・三角巾），19:00～21:00 理論研修

○11 月 27 日（日） 07:00～07:30 朝の集い，09:00～12:00 理論研修（事業分担他），12:00 閉会式

【研修時間】 理論 8 時間，実技 8 時間

【所見】 研修会初日は晴天に恵まれ，交通・移動に支障がなかった。翌日は好天で，グレンデコンディションもよく，満足のゆく雪上研修ができた。安全対策部専門員 7 名と，北海道・東北を除くパトロール技術員 19 名，総勢 27 名の研修会となった。

研修内容は，昨年度のスキーパトロール検定会理論試験問題の検討に始まり，搬送技術，基礎スキー技術の確認，ロープ操法・三角巾包帯法の確認を行った。研修内容について登山安全対策部長，五十嵐教育本部理事に視察いただいた。

最後に今年度の各事業内容の確認と役割分担を決定し，事業実施体制について確認した。

研修会実施にあたり，財団法人長野県スキー連盟，志賀高原高天原スキー場に多大なる協力をいただいたことに感謝して，報告といたします。

■パトロール技術員研修会

○北海道会場

【会期】 2011 年 12 月 2 日（金）～4 日（日）

【会場】 北海道会場：札幌国際スキー場

【責任者】 登山 一成

【講師】 秋元 洋一，影山 広美

【参加者】 北海道ブロックパトロール技術員 男子 18 名，女子 2 名 合計 20 名

【日程及び概要】

○12 月 1 日：19：00～21：00 役員打合わせ

○12 月 2 日：14：30～15：15 開会式，15：15～16：00 理論研修（SAJ 報告・SAH 報告），  
16：00～18：00 理論研修（パトロール研修テーマについて），20：00～22：00 理論研修  
（事業関係について）

○12 月 3 日：9：00～12：00 雪上実技研修（スキー技術），13：00～14：00 雪上実技研修  
（雪上の A E D の使用について），15：00～17：00 室内実技研修（心肺蘇生法ガイドライ  
ン 2010 研修），17：00～18：00 室内実技研修（ロープ操法）

○12 月 4 日：9：30～13：30 雪上実技研修（スキーパトロール技術），14：00～14：30 閉  
会式

【研修時間】 理論 4 時間 45 分， 実技 11 時間 00 分

【所見】 シーズンはじめということもあり，ゲレンデコンディションも心配されたが，  
スキー場関係者の尽力により雪上研修を恵まれた状態の中で予定通りに研修することがで  
きた。雪上においては，今シーズンのパトロール研修テーマの理解 さらに検定種目につ  
いてのスキー技術の確認を相互交流しながら，深めることができた。また，雪上における  
A E D の活用について，機器の取扱メーカーの職員にも参加していただき，冬の雪山とい  
う特殊な状況下を想定して，活発な意見交流をしながら，有意義な研修をすることができ  
た。室内においては，心肺蘇生法ガイドライン 2010 について，ドクターの解説を聞いた  
後，時間をかけて A E D の活用法を含めた新しい技術の習得について，実技研修を行った。  
また，ロープ操法の技術確認をし，効果的な指導法について相互交流を行った。研修会を  
通して，技術の確認と，意識の高揚と共有化を図ることができたと評価することができた。

○東北会場

【会期】 2011 年 12 月 9 日（金）～11 日（日）

【会場】 八幡平スキー場

【責任者】 五十嵐 憲雄

【講師】 鈴木 恵太

【参加者】 東北ブロックパトロール技術員（男子 10 名，女子 1 名，合計 11 名）

【日程及び概要】

○12 月 9 日：11 時役員集合，12 時～13 時参加者受付，13 時開会式・SAJ 報告，13：30～  
17：00 理論研修・2012 教育本部研修会テーマ（合同）及び安全対策部研修テーマ

○12 月 10 日：9：00～12：00 実技研修（雪上），13：00～16：00 実技研修（雪上），  
16：00～18：00 理論研修（安全編の理解と活用），19：00～21：00 理論研修（検定・研修  
内容の確認）

○12 月 11 日：9：00～12：00 実技研修（雪上），13：00～14：00 実技研修（雪上），  
14：00 閉会式

【研修時間】 理論 9 時間，実技 10 時間

【所見】 東北ブロックとしては 2 年ぶりの研修会になるが，心配していた雪も降り充実した研修会にすることができました。ブロックでの合同開催になると教育本部研修会テーマの研修もできると技術員の皆には好評です。東北も北海道同様ブロックでの毎年開催できるよう希望する人もいるようです。秋田県連、スキー場関係者の皆様のおかげで本当にいい研修会にすることができました。ありがとうございました。

#### ■公認スキーパトロール検定会

##### ○第 1 会場

【会期】 2012 年 3 月 2 日(金)～4 日(日)

【会場】 北海道・ルスツリゾート

【責任者】 登山 一成

【主任検定員】 秋元 洋一

【現地総務】 影山 広美

【検定員】 植木 則子，山本 武志，池田 卯一郎，後藤 博昭，宇山 潔，松本 年弘，吉田 也志守，今野 聖二，山村 誠

【ドクター】 道井洋吏

【参加状況】 申込者 26 名，受検者 26 名，合格者 25 名，不合格者 1 名，合格率 96%

【日程】

○3 月 2 日：10:00 開会式，オリエンテーション，17:00 理論テスト

○3 月 3 日：9:00～15:30 「雪上搬送種目テスト」「雪上基礎種目テスト」「総合救出訓練」

○3 月 4 日：9:00～11:00 救急法・ロープテスト，13:00 閉会式

【所見】 会期中は天候に恵まれ，理論検定・実技検定ともに予定通りに終了した。雪上種目は，養成講習会等での成果，絶好のバーンコンディションもあり，雪上種目においては，良好な成績を収めることができた。また，室内種目においても正確迅速なロープワークや包帯法ができていた。検定会を通しての今後への課題としては，より資質の高いパトロールの養成のために，パトロールとして必要な実技を明確にし，検定種目の見直しを，来シーズンに向けて図っていききたい。検定会の実施にあたり，ご協力していただいた北海道スキー連盟及びルスツリゾートスキー場ほか各位の協力によりスムーズな運営をできたことを感謝申し上げたい。受検者の本検定会に向けての準備と意欲には，大変感心させられた。資格取得だけではなく，今後スキーパトロールとしての自覚をもち，各地において，スノースポーツの安全と普及のために大いに活躍してくれることを期待していきたい。

##### ○第 2 会場

【会期】 2012 年 3 月 2 日(金)～4 日(日)

【会場】 山形県・蔵王温泉スキー場

【責任者】 五十嵐 憲雄

【主任検定員】 鈴木 恵太

【現地総務】 太田 和明

【検定員】 須藤 光春, 遠田 武, 竹田 直彦, 奥山 光幸

【参加状況】 申込者 56 名, 受検者 53 名, 合格者 50 名, 不合格者 3 名, 合格率 89%

【日程】

○3 月 2 日 : 10:00 開会式, オリエンテーション, 17:00 理論テスト

○3 月 3 日 : 9:00~15:30 雪上テスト

○3 月 4 日 : 9:00~11:00 救急法・ロープテスト, 13:00 閉会式

【所見】 今回の検定会は年齢的にもバラツキがなく, 20 代から 60 代に至るまでの受検生となりました。スキー技術についても格差なく順調に検定会を終了することが出来ました。地元の皆様本当にありがとうございました。

## ■公認スキーパトロール研修会

### ●第 1 会場

【会期】 2012 年 3 月 23 日 (金) ~ 3 月 25 日 (日)

【会場】 北海道・ルスツリゾート

【責任者】 登山 一成

【主任講師】 上平 尚

【現地総務】 影山 広美

【講師】 植木則子, 松本徹也, 岩山博子, 藪 智樹, 高橋晴実, 岡部秀文

【修了者】 男子 114 名, 女子 33 名, 合計 147 名

【日程】 研修会 (第 1 会場) は, スキーパトロール技術競技大会と同時期での研修会となった。北海道では 17 年ぶりの地元開催ということで, 研修内容も室内及び雪上研修の他, 競技会を見学するなど, 競技をまじかで見られたことで, 研修生にとっても新鮮な雰囲気の中での研修会となった。また, 室内研修では, 心肺蘇生ガイドライン 2005 から 2010 の変更にともない, その改正点を中心に研修を実施し, 雪上研修においては, パトロール技術の中で最低限必要な技術として, 制動技術を取り上げ主に制動を主体とした回転技術について研修を実施し, その必要性について確認することができた。

【研修時間】

【所見】 研修全体を通して, 研修生の意欲的, 協力的に取り組む姿が印象的であった。また, ひとつの研修テーマに焦点をあてたことで, 時間に余裕を持てた研修となった。

### ●第 2 会場

【会期】 2012 年 3 月 2 日 (金) ~ 4 日 (日)

【会場】 山形県・蔵王温泉スキー場

【責任者】 五十嵐 憲雄

【主任講師】 片倉 善文

【現地総務】 阿部 直樹 (講師兼務)

【講師】 斎藤 渡, 三神 良太, 遠藤 秀明, 阿部 直樹

【修了者】 男子 58 名，女子 7 名，合計 65 名

【日程】

○3 月 2 日：開会式，13:00～18:00 理論研修（日赤救急法）

○3 月 3 日：9:00～12:00 実技研修，アキヤボート，応急ボート，13:00～17:30 実技研修，基礎技術研修

○3 月 4 日：9:00～12:00 理論研修

【研修時間】 理論 8 時間，実技 7 時間 30 分

【所見】 地元パトロールの日赤指導員に救急法及び AED の指導をしていただき，大変良い研修が出来ました。実技研修は前日降雪があり，検定バーンのコース整備に協力，地元参加者多く蔵王スキー場の素晴らしいコースを楽しみながら雪上研修が出来ました。また，地元の関係者の皆様に協力をいただき心より感謝する。

### ●第 3 会場

【会期】 2012 年 3 月 16 日（金）～18 日（日）

【会場】 長野県・志賀高原高天原スキー場

【責任者】 増田 千春

【主任講師】 田村 一司

【現地庶務】 太田 廣

【講師】 辺見 秀利，川内 慎吾，森山 直温，大月 昭治

【外部講師】 河野 博明

【修了者】 男子 65 名，女子 14 名，合計 79 名

【日程】

○3 月 16 日：13 時開会式，13 時 30 分雪上研修（標識等），16 時特別講義（スキー場安全条例）

○3 月 17 日：7 時朝の集い，9 時雪上研修（管理区域外とは），14 時救急法，16 時（パト体制）

○3 月 18 日：7 時朝の集い，9 時雪上研修（アキヤ，心肺蘇生，検定種目の確認），12 時閉会式

【研修時間】 理論 6 時間，実技 10 時間

【所見】 最近の異常気象で，会場志賀高原も初日は快晴でしたが 17 は大雨が降り最終日は深い霧に悩まされました。研修内容と時間を臨機応変に組み立てて，無事に全日程を消化しました。今回は，一人ひとりから意見を聞きだす事を最大の目的にして 3 日間過ごしました。その結果さまざまな考えがあり私たち技術員も勉強になりました。『もし私が志賀のパトロールだったら』の意見交換は，大幅に時間をオーバーしての対話がありました。バックカントリーについても研修生の中に専門家が出席しており，踏み込んだ話を聞くことができました。今後パトロールは，この落ち込んだスキー産業，スノースポーツの中で『粛々と安全だけを考えていて良いのか？』の疑問をもっており少しでもヒントにな

った研修会だったと思います。最後に志賀高原スキークラブ、スキー場、又関係者の皆さんに感謝して役員、研修生一同からお礼を申し上げます。

#### ●第4会場

【会期】 2012年2月24日（金）～26日（日）

【会場】 兵庫県・ハチ高原スキー場

【責任者】 山田 隆

【主任講師】 上平 尚

【現地総務】 米田 幸雄

【講師】 伊澤 正純、小瀬 強、吉田 守

【修了者】 男子51名、女子12名、合計63名

【日程】

○2月24日：10:00 役員集合、10:00～11:00 役員会、12:00 参加者受付、13:00～13:30 開講式、13:30～17:30 実技研修（救急法）、19:00～21:00 理論研修

○2月25日： 7:00 朝の集い、9:00～12:00 実技研修（スノーボード操法含む）、13:00～16:00 実技研修、16:00～18:00 理論研修、18:00～20:30 情報交換会

○2月26日： 7:00 朝の集い、9:00～12:00 実技研修、12:00 閉講式・解散

【研修時間】 理論4時間、実技8時間

【所見】 役員会に於いて、会期中のプログラム、日程の確認と職務分担を行い手順として、スキー場リフト会社（2社）パトロール本部への挨拶廻りを行い研修会中の安全祈願をして開会式に望んだ。室内研修・雪上研修共スキー場関係者のご理解とご協力のよって中身の濃い研修会ができた。日程通りの単位を伝達できたことに感謝し報告と致します。

#### ■第27回スキーパトロール技術競技大会

（資料2：第27回スキーパトロール技術競技大会総合成績）

【会期】 2012年3月24日（土）～3月25日（日）

【会場】 北海道・ルスツリゾート

【大会役員】 会長：鈴木 洋一、副会長：吉田 肇、坂本 祐之輔、大会委員長：岡山 紘一郎、大会役員：谷 雅雄、斎藤 二郎、五十嵐 憲雄、山田 隆、増田 千春

【組織委員会】 委員長：登山 一成、副委員長：上平 尚、委員：秋元 洋一、片倉 善文、影山 広美、鈴木 恵太、米田 幸雄、田村 一司

【総務】 影山 広美

【競技役員】

<雪上競技> 技術代表：片倉 善文、競技委員長：秋元 洋一、競技係長：山本 武志、主審：鈴木 恵太、出発審判：宇山 潔、決勝審判：木下 秀夫、旗門審判長：米田 幸雄、計時計算記録係長：富樫 泰一、計時計算記録係：古海 英樹、コース係長：田村 一司、コース係：研修会参加者、セッター：鈴木 恵太、山本 武志、遠田 武、山村 誠、ペナルティー審判：池田 卯一郎、土澤 満、高橋 渉、山村 誠、吉田 也志守、

松本年弘，遠田 武，嶋田 治仁，会場施設係長：後藤 博昭，会場施設係：今野 聖二，放送係長：奥島 玲子

＜室内競技＞ ロープ競技審判長：遠田 武，ロープ競技審判：松本 年弘，三角巾競技審判長：鈴木 恵太，三角巾競技審判：吉田 也志守，計時審判：宇山 潔，木下 秀夫，高橋 渉，山村 誠，池田 卯一郎，山本 武志，計時計算係長：富樫 泰一，計時計算係：古海 英樹

【参加チーム】15 チーム（88 名），チーム埼玉Ⅱ（5 名）は欠場

【日程】

○3 月 23 日（金）：17:00 役員・組織委員集合（本部宿舎）

○3 月 24 日（土）：08:00 出場チーム受付（本部宿舎），10:00 監督会議，10:30～12:00 ボートチェック，13:00～13:45 開会式，14:30～18:00 室内競技，19:00～21:00 情報交換会

○3 月 25 日（日）：08:15～09:00 リフト券販売，09:00～10:00 コースインスペクション，10:00～12:15 雪上競技，13:30 表彰・閉会式

【所見】 大会は，例年以上にスキー技術練度の高い緊迫した競技会となり，見るものも楽しく熱気を帯びた大会となった。また，大会期間中，怪我なく無事終了したことが，最大の成果であるとともに，全国で活躍するパトロールの仲間に敬意を評したい。

■安全対策部専門委員会議（資料 3）

【会期】 2012 年 3 月 25 日（日）～3 月 26 日（月）

【会場】 北海道・ルスツリゾート

【参加者】 登山 一成，上平 尚，片倉 善文，秋元 洋一，影山 広美，米田 幸雄，田村 一司，中澤 義昭，富樫 泰一（オブザーバ） 計 9 名

【議事】

1. 検定会種目見直しについて
2. SAJ への要望事項
3. 公認スキーパトロール研修会の加盟団体開催について
4. 安全対策部関係の規程改正について
5. 第 27 回大会の各種目間ウェイトについて
6. 2013 年度事業計画立案